

日立港区 Hitachi District

釧路定期RORO航路

・航路：日立—釧路

・運航日程：デイリー運航

日立 18:00 ⇒ 釧路 14:00

釧路 18:00 ⇒ 日立 14:00

西欧定期RORO航路

・[月1~2便] ※休止中



完成自動車の輸入



釧路から運ばれてくる貨物



バラ貨物の荷役

バラ貨物等の多様な物流需要に対応した、完成自動車の輸出入・エネルギー供給拠点

In addition to responding to diverse shipping demands such as bulk cargo, it is also a hub for new vehicle import and export, and energy supply base.

様々な貨物を取扱う北関東の玄関口として発展し、現在では完成自動車(メルセデス・ベンツ、日産自動車)、石油製品、重油、LNG等を取扱っています。また、釧路定期RORO航路では大型RORO船がデイリー運航され、北海道の新鮮な生乳や農産物が県内をはじめ首都圏に迅速に運ばれています。



完成自動車の輸出



輸入車の新車整備センター



東京ガス(株)日立 LNG 基地

北関東自動車道と直結! 広大な開発空間を活かしたコンテナ・RORO貨物に対応する一大輸送拠点

Direct access to the Kita-Kanto Expressway! A core international port that makes use of a vast development area to handle containers and RORO shipping.

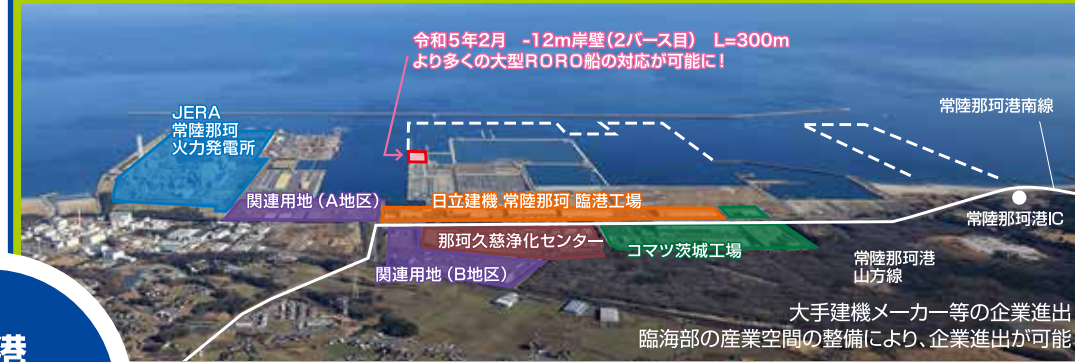
国際海上コンテナターミナルを有する港湾として発展し、栃木県、群馬県を結ぶ北関東自動車道により、京浜港に一極集中している物資の流れを転換し、迅速かつ環境負荷の少ない物流を実現します。



充実した港湾施設



国内外RORO貨物の一大輸送拠点



常陸那珂港区 Hitachinaka District

● 苫小牧定期RORO航路 [毎日2便(土・日を除く)]

● 国際フィーダー航路 [週3便(月・水・金)]

● 韓国・中国定期コンテナ航路[週2便(木・土)]

● 中国定期コンテナ航路 [週1便(木)]

● 韓国定期コンテナ航路 [週1便(木)]

● 北米定期RORO航路 [月1~2便]

● 欧州定期RORO航路 [月2~3便]

● 極東ロシア定期RORO航路[月1~2便 ※休止中]

● 中国・東南アジア定期RORO航路[月1~2便 ※休止中]

● 東・南アフリカ定期RORO航路 [月1~2便]

● 南アメリカ定期RORO航路[月1~2便]

● 東南アジア定期RORO航路[月2~3便]

● 豪州定期RORO航路 [月1~2便]

● 西ヨーロッパ定期RORO航路[月1~2便]

● アフリカ定期RORO航路 [月1~2便]

● アフリカ定期RORO航路 [月2~3便]

茨城港

大洗港区 Oarai District

苫小牧定期フェリー航路

・航路：大洗—苫小牧

・運航日程：毎日2便(日曜日を除く)

(夕方便) 大洗 19:45 ⇒ 苫小牧 13:30

苫小牧 18:45 ⇒ 大洗 14:00

(深夜便) 大洗 1:45 ⇒ 苫小牧 19:45

苫小牧 1:30 ⇒ 大洗 19:30



大洗港フェリーターミナル



大洗サンビーチ



クルーズ船のお見送り



カジキ釣り国際大会

フェリーを中心とし、クルーズ船の寄港など、質の高い賑わいをみせる首都圏フェリーの玄関口

Establishing a high-quality and flourishing hub that centers on ferries and port of call for cruise lines.

1985(昭和60)年3月のカーフェリー就航以来、首都圏と北海道を結ぶカーフェリー基地として発展を続けています。また、クルーズ船の寄港も定着しており、物流・人流の交流拠点として賑わっています。

鹿島港

鹿島臨海工業地帯の輸送基地や、首都圏の東の玄関口としての物流機能を担う世界有数の掘り込み港湾

The Port of Kashima has developed as an industrial port through the Kashima Development Project. The North Public Wharf is connected to an international container route and an international feeder route, and the South Public Wharf has developed as a distribution port, handling feedstuffs, etc. Further expansion of the port is expected in the future.

鹿島港は鹿島開発を通して工業港として発展してきました。また、北公共埠頭には外航コンテナ航路や国際フィーダー航路が寄港し、南公共埠頭は、飼料等を取り扱うなど商業港としても発展しており、今後さらなる港勢の拡大が見込まれます。



北公共埠頭におけるコンテナ荷役風景



鹿島港の工場夜景

